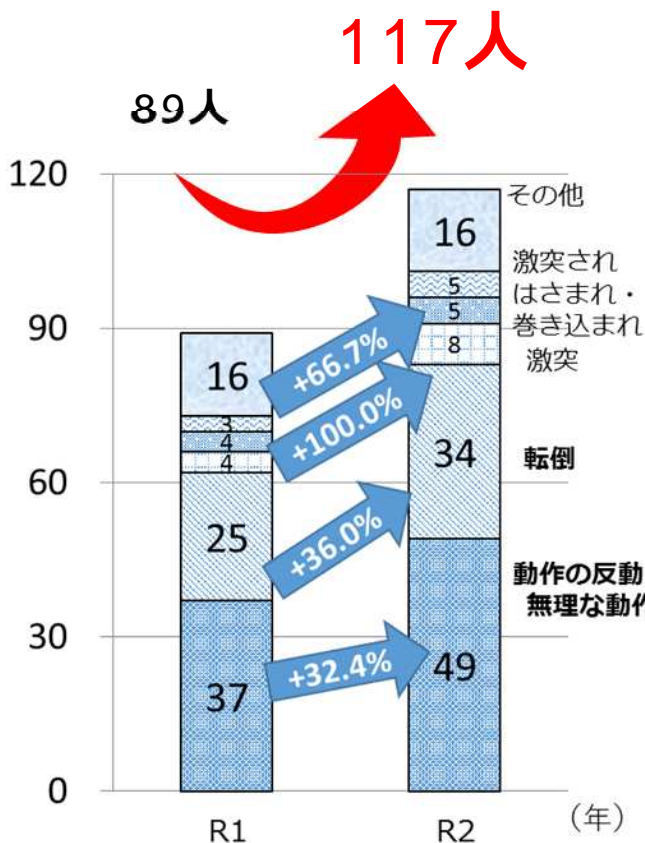


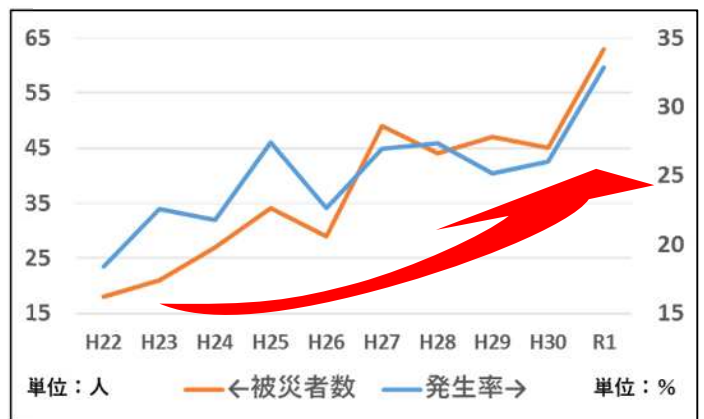
保健衛生業における労働災害が増加！

福岡中央労働基準監督署管内における労働災害による死傷者数（休業4日以上）は、8月末現在842人（前年同月比5.1%増加）です。

特に保健衛生業においては117人（前年同月比31.5%増加）と、他業種と比べ大幅に増加しており、**極めて憂慮すべき状況**です。



事故の型別労働災害発生状況（管内速報値）



60歳以上の労働災害発生状況推移（管内確定値）

○ 「**動作の反動・無理な動作 (1.3倍)**」, 「**転倒 (1.4倍)**」, 「**激突 (2倍)**」等が増加

○ 60歳以上の高年齢労働者の災害は**増加傾向**

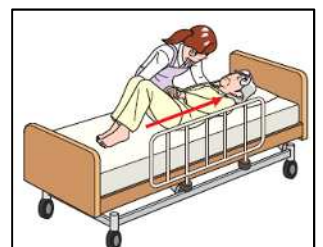
労働災害発生状況

患者をベッド上方へ引き上げる際、1人で作業を行ったところ、腰部に鈍痛が走り休業（病院、20代女性）

浴室での介助中、滑り止めマットのないタイルで足を滑らせ臀部を骨折した（社会福祉施設、40代女性）

保育室で壁に立てかけていた台車が倒れ、とっさに出した手が壁と台車に挟まれて指を骨折した（社会福祉施設、50代女性）

施設利用者の送迎介助中、利用者がステップで転倒し支え起こしたところ、腹部を骨折した（その他医療保健業、60代男性）



災害防止チェック項目

転倒対策



通路、階段出入口に物はないか
床の水たまりや氷、油はないか
十分な明るさ（照度）はあるか
作業靴の耐滑性やサイズは合うか
転倒予防体操やリスク評価チェック票を活用しているか

腰痛対策

体重に合わせた1人当たりの重量制限を知っているか
重量物の重量は表示されているか
腰痛予防健康診断を行っているか
重心を低くするような姿勢をとっているか

その他

労働災害を予防するための安全衛生教育を行っているか
エイジフレンドリーガイドラインの活用（高齢労働者関連）
エイジフレンドリーとは、「高齢者の特性を考慮した」を意味する言葉
・身体機能の低下を補う設備・装置の導入
・利用者の事故防止に関する事例を活用 ほか



STOP!
転倒災害
プロジェクト



職場における
腰痛予防
対策指針



高齢者介護施設
における
雇入れ時の安全衛生
教育マニュアル



エイジフレ
ンドリーガ
イドライン
等



参考資料、Webサイト

教材・事例

職場のあんぜんサイト（リーフレット、動画、災害事例等安全衛生の総合情報）
転倒・腰痛防止用視聴覚教材



健脚ぐるぐる体操



あんぜんプロジェクト

各事業場での取組を参照できます。プロジェクトメンバーも募集中！



講習会・セミナー（予約必須）

働く高齢者のための安全衛生管理セミナー（福岡会場12/3（木））
腰痛予防対策講習会（福岡会場10/28（水）） **保健衛生業**



その他

新型コロナウイルスに関するQ&A（企業の方向け）
○働く方・経営者への支援などのリーフレット一覧



（新型コロナウイルス感染症）



福岡中央労働基準監督署 安全衛生課

福岡県福岡市中央区長浜2-1-1

電話：092-761-5608 FAX:092-761-5616